

# つれづれダムだより

阿木川ダム防災資料館

5月になりました。夏のような陽気が続き散歩日和となってきたので、資料館に立ち寄られた方より「ダム湖の周りを一周できますか？」とよく聞かれるようになりました。ダム堤体上は車の通行はできませんが、徒歩でしたら渡る事ができますので、天気によければこいのぼりを見がてら、歩いてみてはいかがでしょうか？

先月号のつれづれだよりで、入り口広場駐車場にて“こいのぼり”が泳いでいますとお伝えしましたが、ダム堤体上でもずらりと並んで泳いでいる姿が見られるようになりました。風がよく吹いて“コイ”も元気に泳いでいます。たまに、逃げ出す“コイ”もいるそうです・・・

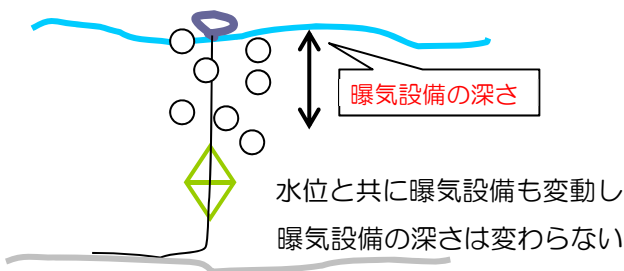
**阿木川ダム 20周年を記念して配布していました記念カードは、今年の3月をもって終了いたしました。好評頂きありがとうございました。**

## 湖の”ぶくぶく”(水の波紋)は何？

夏に近づき、暖かくなって気温が上がってきたのでアオコの発生を防ぐために、「曝気循環設備」という設備を稼働します。→空気の泡の浮く力を利用して、湖水を循環させ表面に浮いているアオコ等を光の届かない層(無光層)まで移動させる設備です。(また、曝気循環設備には2種類のものがあります)

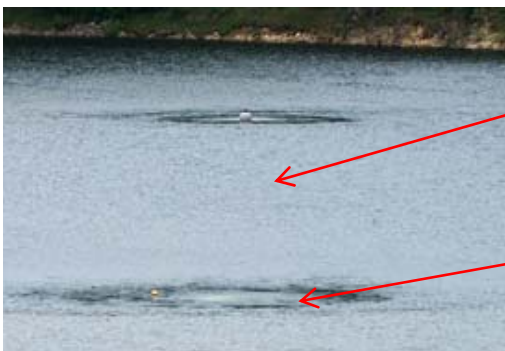
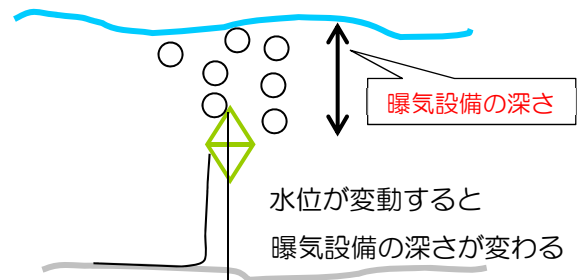
### ★ 水位追従型 (5基)

水深の比較的深い場所に設置するもので、湖の水位が変動しても曝気の深さは変わりません。



### ★ 湖底設置型 (4基)

水深の比較的浅い場所に設置するもので、湖の水位が変動すると曝気の深さが変わります。



### 水位追従型

※ 上記図の ◯ 部分が湖面に見えている白色で丸型の浮きの部分

### 湖底設置型

※ 浮きの設備はありませんが水の波紋が見られます。

冬場は稼働しませんが、夏場に向けて気象条件を考慮しながら、稼働基数を段階的に増やしていきます。もし、湖に波紋を見かけたら、水質を保つための設備が動いているんだな~と思いついていただくと、一歩 ダムマニアの仲間入り・・・?!

